

授業科目	診療に伴う援助技術	単位数	1 単位	講師名	看護教員
		時間数	30 時間		
学年	1 学年		履修期	後期	
授業の目標	診察・検査・治療・処置を受ける対象への援助技術を習得する。				
授業内容 (授業計画)	1. 皮膚・創傷の管理 1) 創傷の治癒過程 2) 創傷のアセスメント 3) 洗浄、保護、包帯法 演習：包帯法 2. 生体機能のモニタリング 1) 診察・検査時の看護師の役割 2) 検体検査（尿・便・喀痰・血液・胸水・腹水） 演習：採血法 3) 生体検査（エックス線撮影、超音波、CT、MRI、心電図、内視鏡、核医学） 4) ME 器機の取り扱いとモニタリング 3. 与薬 1) 与薬における看護師の役割 2) 薬剤の種類と取り扱い方法 3) 与薬方法と効果の観察 演習：筋肉内注射				
評価方法	1. 筆記試験 2. 課題提出				
注意事項	演習や技術チェック等で、注射針やガラス容器の開封を行う。 鋭利な物の取り扱いになるため、怪我に注意して、真剣に取り組むこと。				
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅰ〔3〕基礎看護技術Ⅱ（医学書院） 2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術（医学書院）				
参考図書	看護技術DVD学習支援シリーズ 安全で確かな与薬①（インターメディカ）				